

# 本当に欲しいものは？

今村 洋一（みやき町）

日本中を駆け巡った新型コロナウイルス感染症も、ようやく感染者数が減少に転じ一時は全国に出されていた「緊急事態宣言」も徐々に解除されていきました。

この間、感染した患者さんの診療に従事された多くの医療従事者には、本当に頭が下がる思いです。この自粛期間は、私たちも大変つらい思いを

しましたが、直接診療に当たられた医療従事者の方々は、それ以上にストレスのかかる生活であった事は想像に難しくありません、深く感謝申し上げます。政府もその方々に十分ではないにせよ、予算を割り当てようとしているようです。ただし、それはそれでありがたい事ではありますが、私たちが本当に望

んでいる事は、お金だけでなく、休養と人員です。過労のため休みたくても休めない医療従事者のなんと多い事でしょうか。以前から医療従事者の過重労働は問題視されていましたが、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、それが一気に顕著となりました。もちろん生活のためにはお金は必要です。しかしながら、健康で有意義な人生を送るには十分な休養も必要です。そのためには交代できる十分な人材が必要ですが、現在の医療現場は、とてもそんな余裕はあり

ません。それは、医師、看護師、検査技師、その他、医療に関わる全ての業種で人手不足です。今回の出来事を良い教訓にして、ぜひ、医療従事者の人材育成と十分な休養が取れる体制づくりを望まずにはいられません。